

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

明らかな妊娠・絨毛性疾患の所見が認められないまま長期に低単位 hCG が持続した一例

1. 研究の対象および研究対象期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから 2020 年 3 月まで

2. 研究目的・方法

タイミング指導後、尿中 (U-)、血中 (S-) hCG 陽性も病理学的に絨毛が検出されず、画像検査でも病巣が認められず、妊娠反応陽性から hCG 陰性化に 41 週を要した貴重な一例を経験したので報告したい。

Quiescent gestational trophoblastic disease (Q-GTD) は化学療法や子宮摘出などを行っても低単位の hCG が持続する病態である。本症例は不全流産、異所性妊娠を疑い、Q-GTD も鑑別に挙げられた。挙児希望があり、化学療法、子宮摘出を行わず、全身状態を注意深く観察したところ、徐々に hCG は低下し、妊娠判定陽性から 41 週で陰性化した。極めてまれな症例であり、文献的考察を含め報告したい。

本研究は学術研究であり、昭和大学病院産婦人科に通院中の患者データを利用する。患者データは病院内の診療録管理室にて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得する。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有する。

研究期間 2015 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当該患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、血液データ（血算、生化学、hCG）、臨床症状、バイタル検査、画像検査（X線、MRI、CT）、病理検体検査を調査項目とする。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学産婦人科学講座

氏名： 坂本美和

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8551

研究責任者： 坂本美和